

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営等 措置	令和4年度 電源立地地域対策交付金事業 大川村農道上小南川線舗装等 工事	大川村	5,357,000	4,417,000	

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 の 名 称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	令和4年度 電源立地地域対策交付金事業 大川村農道上小南川線舗装等工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大川村			
交付金事業実施場所		大川村南野山			
交付金事業の概要		農道上小南川線は、農産物の出荷用道路として重要な役割を持つ産業道であり、かつ南野山集落と隣接する上小南川集落とを繋ぐ生活道である。さらに、災害時においては林道長沢川口線の代替道としての役割も担っている路線でもある。 しかしながら、冬期の凍害等により舗装面の傷みが顕著で通行に支障をきたしており、地元からも路面の補修が要望されていることから、本交付金を充当して舗装工事を実施し、地域住民の安全・安心な交通網の確保と農林業の振興を図った。 アスファルト舗装（延長：173.0m、幅員：2.7～7.0m、面積：610m2、舗装厚：4cm）、側溝工（延長：4.0m）			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		大川村振興計画 後期基本計画（平成30年度～令和4年度） 基本目標1 働きよい村づくり 1産業基盤の強化、1）林業の振興 施策①強くたくましい農業づくり ③農業生産基盤の強化 ・効率的な木材等の搬出に向けた農道整備を行い、農林業従事者の所得向上に寄与する。 なお、当該道路は南野山集落（8世帯11人）と隣接する上小南川集落（10世帯14人）とを繋ぐ生活道であり、さらに、災害時には林道長沢川口線の補完、代替道としての役割も担っている。 目標：舗装区間での一部修繕作業に伴う通行制限回数（10回/年）を0回にする。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了年度	
事業期間の設定理由					

交付金事業の成果 目標及び成果実績	成果目標		成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	舗装区間での一部修繕作業に伴う 通行制限回数（10回／年）を0回にする。	舗装区間での一部修繕作業に伴う 通行制限回数	成果実績	回		0	
			目 標 値	回		0	
			達 成 度	%		100	
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、当初計画どおり173.0mを整備した結果、これまで冬期の凍害等による道路の損傷等で年10回の通行制限を実施していた舗装区間において、通行制限回数を年0回に減少する事ができた。舗装区間においては地元住民の安全性が向上するとともに農林業の振興に寄与している。今年度をもって農道上小南川線の舗装補修必要箇所の施工が完了したため、次年度に向けて、同様の重要性を持つ近隣路線における舗装補修を継続して事業実施を図っていく。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動 指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	舗装延長	活動実績	m	180.8	184.0	173.0	
		活動見込	m	180.8	184.0	173.0	
		達 成 度	%	100.0	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度		備考		
総事業費	4,532,000	4,444,000	5,357,000		令和4年度の総事業費：5,357,000		
交付金充当額	4,400,000	4,441,000	4,417,000				
うち文部科学省分	0	0	0				
うち経済産業省分	4,400,000	4,441,000	4,417,000				
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	舗装工事	指名競争入札	有限会社山中建設	5,357,000円			
交付金事業の担当課室	大川村むらづくり推進課						
交付金事業の評価課室	大川村むらづくり推進課						